

加須市誘客促進ビジョン（令和6年度分）評価の考え方

《評価の考え方》

- ◎ 市には、総合振興計画や様々な部門計画があり、こうした計画に対する評価の考え方を統一すべきとの考えから、指標に照らして、下記のとおり、統一的な基準で評価することとしています。

1 達成度評価

各取組にかかる計画値等の達成状況を、次の評価基準に基づき評価を行いました。

※全99事業の計画値等のうち、再掲41事業の計画値等も含めて評価

評価		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成したものをいう。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。

2 基本方針ごとの達成度評価

各取組にかかる計画値等の達成度評価の結果をもとに、次の評価基準に基づき評価を行いました。

評価		達成度評価基準
①	計画どおり達成できた	基本方針を構成する全ての計画値等において達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」であった。
②	概ね達成できた	計画値等の達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
③	やや達成できなかった	計画値等の達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
④	達成できなかった	計画値の達成度評価が「目標を達成」または「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

3 計画全体の成果

取組の達成状況により、次の成果判断基準に基づき評価を行いました。

成果		成果評価基準
A	非常に成果があった	全ての数値目標が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合。 「大いに成果が得られたとみなせる」とは、設定したすべての数値目標の実績値が目標値を100%以上達したものをいう。
B	相当程度成果があった	一部の数値目標が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合。 「概ね成果が得られたとみなせる場合」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の80%以上達したものをいう。
C	成果があった	数値目標の達成状況は芳しくなかったものの、取組として前進したとみなせる場合。 「数値目標の達成状況は芳しくなかった」とは、数値目標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
D	成果がなかった	数値目標と実績値に大幅な乖離があり、取組として前進したとは言い難い場合。 「数値目標と実績値に大幅な乖離がある」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。